

緑のセンターだより

NO.102 平成19年9月1日発行

発行元: (財) 札幌市公園緑化協会

豊平公園緑のセンター

芙蓉 (フヨウ)



フヨウは九州南部、琉球諸島、中国、濟州島に自生する落葉低木で、近縁のムクゲとともに、古くから庭木として親しまれて来ました。中国ではフヨウと言えばハスのことで、これには水芙蓉の字を当て、灌木のフヨウには木芙蓉の字を当てています。現在フヨウと呼ばれているのは木芙蓉のことです。

暖地では高さ2~3mの灌木となりますが、関東以北では冬に地上部は枯れ、草本状となり春に芽を出します。葉は互生し、掌状に浅く3~7裂し、葉縁にはわずかに鋸歯があるほか、密に星状毛および短毛があります。

花は他のヒビスクス属(ハイビスカス、ムクゲ、ブッソウゲなど)と同様な形態で、花弁は5枚。枝先近くの葉腋から長い花柄をだし、単生します。

花色は淡いピンクで中心部は濃く、朝は淡桃色、日中は桃色、夕方には桃赤色となり1日でしづんでゆきます。同属のムクゲと同時期に、似た花をつけますが、直線的な枝を上方に伸ばすムクゲの樹形に対し、よく枝分かれして横にこんもりと広がること、葉がムクゲより大きいこと、めしべの先端が曲がっていることで容易に区別できます。

フヨウは平安時代から栽培されていたにもかかわらず、交配による品種の育成はあまり行われていません。種間交雑が可能で、いくつかの交配が行われていますが、あまり普及していません。

今朝も一つ咲きし芙蓉のあざやかさ
きのうの花は既に散りたる
大悟法 利雄

アオイ科 *Hibiscus mutabilis* L. (フヨウ属)

品種や変種に次のようなものがあります。

H. m. var. alba hort.

白花一重咲き

H. m. var. formosana Masam. et Suzuki

白花八重咲き。台湾

H. m. var. roseo-pulenus Makino

ピンク八重咲き

H. m. f. versicolor Makino スイフヨウ(醉芙蓉)

八重咲き。朝は白、昼にはピンク、夕方には紅

H. m. var. polygamus hort. シチメンフヨウ(七面芙蓉)

八重咲き、濃紅色。花の中心が四方に向いているように見える。詳しい分類は不明。

フヨウと呼ばれているものにロザンフヨウ(盧山芙蓉)やアメリカフヨウがありますが、ロザンフヨウ(*H. paramutabilis* L.H.Bailey)は中国産の耐寒性の強い小高木、アメリカフヨウ(*H. moscheutos* L.)はクサフヨウともいわれる北米産の宿根草で、いずれもフヨウとは別種です。日本の南西諸島に産するサキシマフヨウ(*H. makinoii* Jotani et H.Ohba)もフヨウによく似ていますが、フヨウより花期が遅く、強健、多花性で、茎葉や萼などに腺毛が無い点で区別されます。

観賞用のほか、樹皮の纖維を繩や下駄の鼻緒、衣服、和紙の補助材料としても利用されていたそうです。また、古来より詩歌に詠まれ、絵画に描かれてきました。花言葉は「繊細な美」。儂げなイメージが愛されてきました。(T.K.)



9月園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

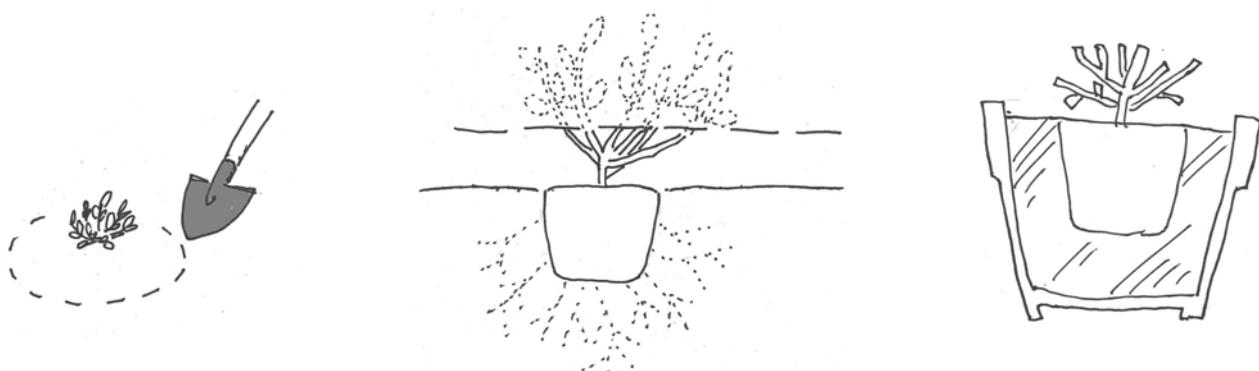
緑の相談受付	10:00~12:00、13:00~16:00
☆豊平公園	811-9370 月曜以外毎日
☆百合が原	772-3511 木・日
☆平岡樹芸センター	883-2891 水・土

◆庭植えにした草花の鉢上げ

この春室内から花壇やプランター、コンテナに植え込んだ草花は、そろそろ終盤の様相になってきます。窮屈な鉢から地面に解放された株は、春から夏にかけ自然環境の中で旺盛な生育を遂げ、充分に肥大した状態ですが、非耐寒性の草花などは鉢植えに戻して入室すると、開花を続けたり翌春からの株として養成することができます。インパティエンス、ペチュニア(サフィニアなど)、ベゴニア(四季咲き、木立など)、ゼラニウム、マガレット、フクシア、プレクトランサス(ヤマハッカ属)、ユリオプスデージーなどをはじめ、寄せ植えに使ったテランセラ、イレシネ、ヘデラ、ヘリクリサム、シロタエギク、テラスライム(イポメア)なども鉢上げ越冬の対象です。

◆鉢上げとその後の管理

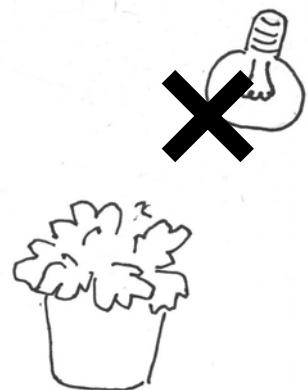
掘り上げは出来るだけ根鉢を大きくとり、鉢上げは思い切り土を落とし周辺の根を切り落として根鉢より一回り大きめの鉢に植えます。植え込み用土は鉢花用土(例=赤玉土:腐葉土:火山礫、5:3:2など)を使います。



鉢上げ後は直射日光を避け、水やりに注意しながら新芽の発生を待ち、生育の進展が見られたら薄い液肥で養生しましょう。株の生育が回復したら日当たりで管理し、入室後も窓辺など明るい場所に置くと開花を続けます。株養成のために鉢上げした植物は、入室後も低温(無加温)で、肥料はやらず水管理だけをします。

* 球根ベゴニアの鉢上げ

球根ベゴニアは鉢植えでも10月までは開花を続けますが、庭植えにすると花も株も豪勢に生育して見事な花を咲かせています。球根(塊茎)を採取するためには早めに(9月中旬頃)鉢上げして花後の養成をしなければなりません。鉢上げ後は水やりを止め夜間照明のない涼しい場所で管理します。地上部の生育が止まって茎葉部の養分が下降し、球根は肥大充実します。球根が充実したら株もとに離層ができるので茎葉部は自然に離脱(枯死)します。球根が未熟なうちに茎葉を切り取ると球根腐敗などで傷んでしまうことがあります。夜間に照明があたると休眠に移行せず生長を続けますが、一般家庭の環境下では冬の栽培は難しいと思われますので、しっかり休眠させましょう。



◆ニンニクの植え付け

ニンニクは秋に植え付け、低温を経ることで球の形成が準備され、融雪後日が長くなり、気温が10°C以上になると球の肥大が始まります。香辛料として重宝な一品ですので、栽培に挑戦してみましょう。

植え付け時期

9月中～下旬が適期です。早すぎると降雪前に萌芽して凍害をうけます。逆に遅すぎると根張りが悪く翌春の生育にも影響し、球の肥大が悪くなります。

畑の準備

植え付け2週間前に、1m²当たり堆肥3kg、苦土石灰100g、よう燐(熔成燐肥)200gを全面に散布し、起こしておきます。

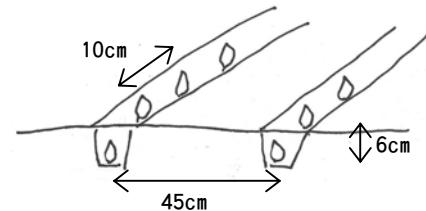
1週間前には、緩効性化成肥料80gを散布し、起して整地しておきます。よう燐の効果は高いので、是非施しましょう。

種球の準備

種球はホワイト6片種を信用の出来る種苗店より購入します。食用はウィルスに汚染されている心配がありますので使用しません。1片が6～15g程度のものを使います。余り大きなものは分球している場合が多いので使いません。



茎盤が欠損している球は×



植え付け

畦幅45cmに深さ6～7cmの植溝を作り、株間10cmでりん片のとがった方を上にして植え込み3cm程度の覆土をします。

追肥

融雪直後に速効性の化成肥料を、1m²あたり80g、畠間に散布して軽く中耕をします。

芽吹き

種球が分球していたときには、茎が2本出てくるので、1本は株元をおさえて横に引き抜くようにして取り、1本立ちにします。



摘蕾

茎の先端に蕾(珠芽)が出てきたら早めに摘み取ります。

収穫と貯蔵

茎葉全体の2/3が黄変したときが収穫期です(7月中旬～8月上旬)。1日程度日干しして、土を落とし根を切れます。10本ずつ結束し風通しの良い日陰で40～50日乾燥させます。その後は冷蔵庫(3°C湿度70%)で貯蔵します。

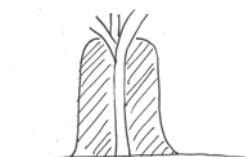
◆その他の野菜の9月の管理

ハクサイ

7月下旬に蒔いたものは、9月中旬頃には結球始めになるので、残してあった30%の窒素とカリを追肥します。また、害虫の発生も多くなりますので、初期防除に努めましょう。

ダイコン

種まき後30日頃、生育の状態を見て窒素とカリの追肥をします。



ナガネギ

9月中下旬が最後の培土となります。葉しよう部(葉の分岐部)の上まで十分に土をかけます。

◆Q&A

Q フクシアを育てています。美しい花を咲かせましたが、葉の裏に白い粉のようなものがつきました。手持ちの薬剤をかけましたが効果がありません。どうしたらよいでしょうか、教えてください。(西区 Oさん)

A 葉の裏に白い粉のようなものがついているとのことですが、これはオンシツコナジラミかスリップスと呼ばれる害虫かと思われます。枝にふれると、白い小さな虫がふわっと飛ぶようであれば、間違いなくオンシツコナジラミです。駆除には、殺虫剤のラベルの適用害虫に「オンシツコナジラミ」の記載があるものを用いますが、生活サイクルが2～3週間に非常に短いので、1ヶ月に1回くらいの殺虫剤散布ではなかなか駆除が困難です。殺虫剤の使用にあたっては、残効性のある粒剤を4週間に1回鉢土にまく、または1週間に1回の即効性の乳剤散布を2～3回程度続ける、あるいは粒剤と乳剤の両方を併用することが効果的です。

このオンシツコナジラミやスリップスなどは、以前は冬季にはほとんど発生が見られなかったのですが、近年の気密性の高い住宅では、冬季も室内での発生が見られます。



これから冬季を迎えて室内園芸を楽しむ場合、鉢もののフクシアをはじめ、ハイビスカスやニューギニアインパティエンスなどに発生しやすいので注意し、できるだけ初期防除に努めましょう。

9月～10月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 811-6568

内容	日	時間	申込開始日	費用・備考
園芸教室				
おもとの楽しみ方	9/2(日)	13:30	8/11(土)	無料
サボテンの秋冬の管理	9/16(日)	"	9/11(火)	"
鉢花・草花・球根類の秋管理	9/19(水)	"	"	"
きのこの見分け方	9/23(日)	"	"	"
秋のミニ盆栽を作ろう	9/29(土)	"	"	2,500円
園内自然観察会	10/3(水)	10:00	"	無料
展示会				
サボテンと多肉植物展	9/11(火)～17(月)	札幌力クタスクラブ		
さつき盆栽展	9/21(金)～24(月)	札幌さつき会		
きのこ展	9/22(土)～24(月)			
盆栽展	9/27(木)～30(日)	札幌盆栽会		
ダイモンジソウ展	10/2(火)～8(月)			
秋の小品盆栽展	10/6(土)～8(月)	札幌小品盆栽会		
秋の盆草展	10/12(金)～14(日)	札幌草樹会		
クラフト講習会				
アレンジ押し花講習会 木の葉のアクセサリー	9/20(木)	10:00～	9/11(火)	1,500円
あけび工房講習会 檜円形のバスケット	9/26(水)	"	"	2,200円

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 772-3511

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
ダリア見学会	9/15(土)	10:00	9/11	200円
ダリアの掘り上げと貯蔵	9/29(土)	13:30	"	"
バラの冬用い	10/14(日)	"	10/11	"
展示会				
ダリア展	9/11(火)～17(月)		入館料 130円	
秋の洋ラン展	9/26(水)～30(日)		"	
盆栽展・オモト展	10/5(金)～8(月)		"	

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 883-2891

内容	日	時間	申込開始日	費用・備考
果樹の整枝剪定	10/14(日)	10:00～	9/11(火)	無料
アレンジ押し花講習会 ランチョンマット	9/7(金)	10:00～	8/11(土)	1,500円
" 花額	9/21(金)	"	9/11(火)	3,000円
" 木の葉のアクセサリー	10/12(金)	"	"	1,500円
サプライズフラワーアレンジ教室 みなづきの花をクリスマスまで楽しむアレンジ	9/27(木)	"	"	2,500円
展示会				
アレンジ押花展	9/22(土)～10/4(木)		無料	

その他のイベント

内容	日	会場	お問合せ
花と緑のまちづくりデザイン講座	応募締切:9/18(火)	札幌市立大学ほか	(財)札幌市公園緑化協会 211-2579
ツタ苗補助	申込:9/5(水)～20(木)	豊平公園ほか	"
さっぽろサケフェスタ 2007	9/23(日)	豊平川さけ科学館	さけ科学館 582-7555